

本会・他学会水環境関連行事一覧

開催期日	行事	開催地	案内記事 掲載巻号
2019年			
5月	17日(金)	海水資源・環境シンポジウム2019	千葉 本号
	18日(土)	2019年度日本水環境学会東北支部総会・講演会	仙台 本号
	21日(火)	第32回環境工学連合講演会「限界の認識と目標の達成」	東京 本号
	22日(水)～24日(金)	第43回基礎化学工学演習講座(第1クール)	名古屋 本号
	29日(水)～31日(金)	第43回基礎化学工学演習講座(第2クール)	名古屋 本号
6月	1日(土)	平成31年度日本水環境学会中部支部総会および見学会	静岡 本号
	11日(火)	グリーンサイエンス21 第13回セミナー「みんなの水道」	東京 本号
	15日(土)	2019年度日本水環境学会関東支部総会・特別講演会	東京 本号
	18日(火)	第39回通常総会	東京 本号
	19日(水)～21日(金)	10 th IWA International Symposium on Waste Management Problems in Agro-Industries (AGRO' 2019)	Greece 本号
	19日(水)～21日(金)	第43回基礎化学工学演習講座(第3クール)	名古屋 本号
7月	3日(水)～5日(金)	第43回基礎化学工学演習講座(第4クール)	名古屋 本号
	13日(土)～14日(日)	WET 2019 (Water and Environment Technology Conference 2019)	大阪 本号
	17日(水)～19日(金)	第43回基礎化学工学演習講座(第5クール)	名古屋 本号
8月	2日(金)	第28回市民セミナー「災害・防災の視点。水環境分野から見えること, できること。」	東京・大阪 本号
9月	5日(木)～6日(金)	第22回日本水環境学会シンポジウム	札幌
10月	7日(月)～10日(木)	7th IWA Specialist Conference on Natural Organic Matter IWA 水中の天然有機物に関する専門家会議 (NOM 7)	東京 本号
	8日(火)～9日(水)	第25回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会	大阪 本号
	27日(日)～31日(木)	19th IWA International Conference on Diffuse Pollution and Eutrophication (DIPCON 2019)	Korea 本号
	31日(木) ～11月3日(日)	The 8th IWA-ASPIRE Conference & Exhibition 2019	香港 本号
11月	13日(水)～15日(金)	4th International Anammox Symposium IANAS 2019	大阪 42巻4号
	17日(日)～20日(水)	The 8th IWA Microbial Ecology and Water Engineering Specialist Conference (MEWE 2019)	広島 本号
	25日(月)～27日(水)	第11回エコデザイン国際シンポジウム (EcoDesign2019)	横浜 42巻3号
2020年			
3月	16日(月)～18日(水)	第54回日本水環境学会年会	盛岡
10月	18日(日)～23日(金)	IWA World Water Congress & Exhibition 2020	コペンハーゲン

本会関連行事

第 39 回通常総会のお知らせ

下記の通り第 39 回通常総会を開催いたします。会員各位のご参加を賜りますようお願い申し上げます。また、総会にあわせて受賞者講演および特別講演を企画しておりますので、奮ってご参加ください。

学会ホームページの会員専用ページ内の総会出欠登録ページにて、総会への出欠の連絡、議事の委任もしくは議決権行使に關しての手続きをお願い申し上げます（総会出欠登録ページ開設期間は 5 月 29 日（水）～6 月 17 日（月）午後 6 時まで）。学会ホームページからのお手続きがどうしても難しい場合には、6 月 7 日（金）までにその旨を事務局（Tel：03-3632-5351、E-mail：info@jswe.or.jp）へご連絡ください。出欠連絡、委任および議決権行使に關する紙面による回答票をお送りいたします。また、団体会員の方で総会当日出席者が団体代表者以外の方の場合、代理権を証明する書類のご提出をお願い申し上げます。書式は事務局に用意していますのでお問い合わせください。

総会は正会員現在数の過半数のご出席がなければ議事を開くことができません。ご出席いただけない場合には、必ず委任もしくは議決権行使の手続きをおとりくださいますようお願い申し上げます。

記

日 時 2019 年 6 月 18 日（火）13:00～17:00
 （表彰式、受賞者講演および特別講演を含む）

場 所 タワーホール船堀 4 階「研修室」
 （東京都江戸川区船堀 4-1-1 Tel：03-5676-2211/
 都営地下鉄（新宿線）「船堀」駅徒歩 1 分）
<http://www.towerhall.jp/4access/access.html>

プログラム（案）：

- ・総会（本会正会員のみ）
- ・表彰式
 〈休 憩〉
- ・受賞者講演
- ・特別講演（開始予定：16:00）
 「水環境の現状と課題」

岡田 光正 氏（放送大学）

参加費無料

終了後懇親会を開催の予定（会費：5,000 円 当日現金受付）

なお、受賞者講演、特別講演には非会員の方の参加（無料）も歓迎いたします。

Water and Environment Technology Conference (WET2019)

日本水環境学会主催の国際会議“Water and Environment Technology Conference”を開催致します。会議で

の発表に合わせて、Journal of Water and Environment Technology（JWET）への論文投稿を受け付けております。詳細は本会ホームページにてご確認ください。

主 催 日本水環境学会

期 日 2019 年 7 月 13 日（土）～14 日（日）

場 所 大阪大学吹田キャンパス（大阪府吹田市）

交 通 阪急電車千里線 北千里駅から徒歩 15 分

大阪モノレール 阪大病院前駅から徒歩 15 分

内 容 口頭発表（数分）とポスター発表のハイブリッド発表

論文投稿方法

JWET への論文投稿は、発表受付メールに記載の方法に従って 2019 年 6 月 28 日（金）までに Web 上で行ってください。投稿された論文は通常の査読が行われ、2019 年 8 月 30 日（金）までに査読結果を通知いたします。なお、論文投稿の有無に関わらず、WET2019 で配布される講演要旨集には要旨のみが掲載されます。

テーマ（下記に限りません）

- ・Field Research and Modeling of Water Environment
- ・Water Purification and Treatment Technology
- ・Restoration of Water Environment
- ・Management of Hazardous Chemicals and Waste
- ・Public Health and Risk Assessment
- ・Analytical Chemistry of Water Environment
- ・Environmental Education and Training
- ・Water Reclamation

表 彰

Excellent Poster Award を WET2019 の発表者すべてから、Excellent Paper Award を JWET へ論文投稿した発表者から選出し表彰します。

参加登録

WET2019 の web ページにて、Early-bird registration を 2019 年 6 月 20 日（木）24:00 まで受け付けます。以後は当日受付となります。登壇者（発表申込者）は自動的に事前予約扱いになりますので、事前予約は不要です。いずれの場合も、参加費は当日受付にてお支払いください。

参加費

一般

	Participant	Speaker
Early-bird	5,000 JPY	5,000 JPY
On site	7,000 JPY	5,000 JPY

学生

	Participant	Speaker
Early-bird	3,000 JPY	3,000 JPY
On site	4,000 JPY	3,000 JPY

宿泊のご案内

宿泊の斡旋は行っておりません。三連休中でもあってホテル需給が厳しくなっていますので、早めの手配をお

願います。

問い合わせ先 WET 事務局

E-mail: wet@jswe.or.jp, Fax: 03-3632-5352

第 22 回日本水環境学会シンポジウム 発表申し込み案内

第 22 回日本水環境学会シンポジウムを下記の要領で開催いたします。各研究委員会主導のプログラムで実施されますが、多くの研究委員会で発表を公募しておりますので、積極的に発表申し込みをしていただきますようお願いいたします。また、本部企画、メタウォーター賞受賞者講演のほか、大学院博士後期課程の研究奨励を目的とした若手研究紹介（オルガノ）セッションなど、多彩な企画が用意されています。

多数の皆様のご参加をお願い申し上げます。

1. 概要

期 日 2019 年 9 月 5 日（木）～6 日（金）

会 場 北海学園大学工学部（山鼻キャンパス）

（北海道札幌市中央区南 26 西 11-1-1）

【注意】地下鉄東豊線「学園駅」直結の「豊平キャンパス」ではありません。ご注意ください。「山鼻キャンパス」へのアクセスは下記 URL をご覧ください。

(<https://www.hgu.jp/about/access.html>)

内 容 本部企画、各研究委員会等の主催によるセッション、若手研究紹介（オルガノ）セッション、メタウォーター賞受賞者講演ほか。

2. 研究発表の募集

セッションを予定している研究委員会、セッション題目、公募の有無、連絡担当者は別表のとおりです。発表を希望される方は、直接、連絡担当者にお申し込みください。

申込期限 2019 年 6 月 27 日（木）（必着）

応募資格 原則として本会会員に限ります。

非会員で発表希望の方は、連絡担当者にお問い合わせください。

注：「若手研究紹介（オルガノ）セッション」が別表とは別に設定されますが、これについては、別項「2019 年度博士研究奨励賞候補者募集」を参照ください。

3. 原稿作成・投稿方法

原稿枚数 A4 版 1～2 枚（図表込み）とします。

原稿書式 書式・投稿方法は当学会ホームページをご参照ください。http://www.jswe.or.jp/event/symposium/pdf/Sympo_youryou.pdf

提出期限 2019 年 8 月 5 日（月）（必着）

4. 発表形式

発表はシンポジウム形式を原則とし、1 演題 10～20 分としますが、運用の詳細は各研究委員会に一任されています。発表には液晶プロジェクターを利用できますが、パソコンは各研究委員会でご準備ください。

5. 参加申し込み

シンポジウム参加申し込み案内は本誌 6 月号に掲載予定です。発表者も必ず参加申し込みをしてください。

2019 年度

博士研究奨励賞（オルガノ賞）候補者募集

募集対象者

本年 3 月末時点で 35 歳以下の本会会員のうち、博士後期課程大学院生、もしくは 2018 年 1 月 1 日以降に博士後期課程において学位（博士）取得した者で、第 22 回日本水環境学会シンポジウム（北海学園大学：2019 年 9 月 5～6 日）の若手研究紹介（オルガノ）セッションに於いて発表可能な方が対象となります。ただし、2018 年度以前に同賞を受賞された方は対象になりません。

応募方法

以下の書類を 2019 年 6 月 25 日（締切厳守）までに、原則として電子的に提出してください。

(1) 論文（A4 用紙 4 頁または 6 頁）

博士研究奨励賞（オルガノ賞）候補者募集情報 <http://www.jswe.or.jp/awards/organo/index.html> に記載の「日本水環境学会シンポジウム講演集原稿執筆および発表要領（博士研究奨励賞候補者用）」および「原稿書式」を参照してください（英文もあります）。論文は、博士課程における研究成果をまとめたものとしませんが、原著論文でも、また既発表の内容を含んだものでも構いません。また原著論文の場合、他雑誌への投稿を本学会が妨げるものではありません。講演要旨の内容に関する責任は著者にあり、本学会が責任を負うものではありません。この論文は一次選考においてのみ使用し、シンポジウム講演集には掲載しません。一次選考通過者には別途、講演集掲載用に A4 用紙 1 ページの要旨を提出していただきます。

(2) 関連する研究業績リスト

次の通り、分けて記載をお願いいたします。

- ・学術雑誌論文（水環境学会誌、Journal of Water and Environment Technology, Water Research など）については、応募者が第一著者のものとその他に分けて記載してください。また、当該論文の査読の有無を明記してください。
- ・国際会議講演集（Proceedings など）については、IWA 主催のものとそれ以外のものに分け、発表者を明記してください。
- ・国内学会講演集については、本学会関連のものとそれ以外に分け、発表者を明記してください。

(3) 大学卒業以降の履歴書

(4) 本学会の会員番号

注）申し込みまでに、入会手続きを終了し、会員番号を取得している必要があります。

選考方法

提出された論文、関連する研究業績リストに基づき、1

第 22 回日本水環境学会シンポジウム 別表

研究委員会名	セッションタイトル	公募	開催 期日	連 絡 先
本部企画（環境省）	環境技術実証事業で実証した水質 浄化等技術	なし	5 日 PM	辻川優祐（環境省環境研究技術室）
				Tel：03-5521-8239 Fax：03-3593-7195
				YUSUKE_TSUJIKAWA@env.go.jp
本部企画（戦略企画委員会）	今、地域の水環境行政を創造する	有り	5 日 AM	見島伊織（埼玉県環境科学国際センター）
				Tel：0480-73-8353 Fax：0480-70-2031
				mishima.iori@pref.saitama.lg.jp, mishima.pref@gmail.com
嫌気性微生物処理	嫌気性バイオテクノロジーの技術 開発と応用	有り	5 日 PM	小林 拓朗（国立環境研究所資源循環・廃棄物研究センター）
				Tel：029-850-2110 Fax：029-850-2560
				kobayashi.takuro@nies.go.jp
MS 技術	環境リスク把握への MS 技術の活 用	有り	6 日 PM	松村千里（兵庫県環境研究センター）
				Tel：078-735-6911 Fax：078-735-7817
				jswe-ms@ee-net.ne.jp, matsumura-c@hies-hyogo.jp
生物膜法	生物膜機能を応用した「いさはや 新池」流域等の環境再生保全のた めの国内外総合戦略	なし	6 日 PM	稲森悠平（国際科学振興財団バイオエコ技術開発研究所）
				Tel：090-3203-4853
				y_inamori@fais.or.jp
身近な生活環境	防災・減災から水環境を考える	有り	5 日 AM	柿本貴志（埼玉県環境科学国際センター）
				Tel：0480-73-8368 Fax：0480-70-2055
				kakimoto.takashi@pref.saitama.lg.jp
微生物生態と水環境工学	複合微生物解析をルーツとして展 開する水環境研究	なし	6 日 AM	久保田健吾（東北大学）
				Tel：022-795-5011 Fax：022-795-5011
				kengo.kubota.a7@tohoku.ac.jp
バイオアッセイによる安全性 評価	水質環境基準（指針）値はバイオ アッセイの結果から設定可能か？	なし	6 日 PM	山本裕史（国立環境研究所）
				Tel：029-850-2754 Fax：029-850-2870
				yamamoto.hiroshi@nies.go.jp
水中の健康関連微生物	薬剤耐性菌による水環境汚染とそ の制御	有り	5 日 PM	佐野大輔（東北大学）
				Tel：022-795-7481 Fax：022-795-7484
				daisuke.sano.el@tohoku.ac.jp
湿地・沿岸域	流域から湿地・沿岸域の動態・保 全・再生と亜寒帯の環境	有り	6 日 AM	田中周平（京都大学）
				Tel：075-753-5171 Fax：075-753-3335
				t-shuhei@eden.env.kyoto-u.ac.jp
ノンポイント汚染	流域物質動態におけるノンポイン トソース研究の意義	有り	6 日 AM	佐藤祐一（滋賀県琵琶湖環境科学研究センター）
				Tel：077-526-4044 Fax：077-526-4803
				sato-y@lberijp
膜を利用した水処理技術	インフラの質を上げる膜	有り	5 日 PM	大和信大（メタウォーター株式会社）
				Tel：070-6593-8374 Fax：052-856-1405
				yamato-nobuhiro@metawater.co.jp
紫外線を利用した水処理技術	表流水を原水とする浄水場への UV 適用 その意義と課題	有り	6 日 PM	恩田建介（水 ing 株式会社）
				Tel：050-3482-8107 Fax：03-5479-8576
				onda.kensuke@swing-w.com
産業排水の処理・回収技術	海外事業を見据えた水処理	有り	6 日 AM	三好太郎（前澤工業株式会社）
				Tel：048-253-0710 Fax：048-253-0719
				taro_miyoshi@maezawa.co.jp
電気化学的技術	環境エンジニアリングにおける電 気化学的技術	有り	5 日 PM	小森正人（株式会社ヤマト 大和環境技術研究所）
				Tel：027-290-1865 Fax：027-290-1897
				Komori_Masahito@yamato-se.co.jp
熱帯・亜熱帯地域水環境	熱帯亜熱帯地域の多様な水質浄化 技術	有り	6 日 AM	宮城 俊彦（（元）沖縄県衛生環境研究所）
				Tel：090-9785-3051
				miyagto571123@yahoo.co.jp
農産業に関わる水・バイオマ ス循環技術	農産業に関わる水・バイオマス利 用の持続性を考える	なし	6 日 AM	赤尾聡史（同志社大学）
				Tel：0774-65-6578
				sakao@mail.doshisha.ac.jp
汽水域	塩分が変化し成層しやすい汽水域 をどうするか～課題と展望	なし	5 日 終日	山室真澄（東京大学）
				Tel：04-7136-4770 Fax：04-7136-4756
				yamamuro@edu.k.u-tokyo.ac.jp

次選考を行います。1次選考の結果は、7月末までに、電子メールにて通知いたします。研究業績に関しては大学院生が不利にならないよう、研究期間を加味して評価を行います。

1次選考を通過した方は、第22回日本水環境学会シンポジウムの若手研究紹介（オルガノ）セッション（9月5日）にて発表をしていただき、発表審査を行います。書類選考と発表審査結果を総合的に評価し、博士研究奨励賞受賞者を決定いたします。表彰は当日の懇親会にて行いますので、懇親会にも必ず出席してください。1次選考通過者にはシンポジウム参加に当たり、交通費、宿泊費、参加費および懇親会費が補助されます。一次選考通過者のA4用紙1ページの要旨の提出期限は通常のセッション要旨と同じです。

応募書類送付・問い合わせ先

（公社）日本水環境学会 シンポジウムオルガノセッション係
Tel：03-3632-5351
E-mail：kubota@jswe.or.jp

第32回環境工学連合講演会 「限界の認識と目標の達成」

主 催 日本学術会議 土木工学・建築学委員会
期 日 2019年5月21日（火）10:00～17:10
場 所 日本学術会議講堂（東京都港区六本木7-22-34）
東京メトロ・千代田線「乃木坂駅」下車、青山
霊園出口を出てすぐそば

プログラム 詳しくは下記URLをご覧ください。

定員 200名（申込み先着順／定員に余裕がある場合は当日の参加も受付いたします）

参加申込 下記URL（Peatixサイト）よりお申し込みください。Peatixサイトから参加申込いただけない場合のE-mailでの参加申込についても詳細を同サイトでご確認ください。<https://rengo32-mmij.peatix.com/>

参加費 無料／講演論文集は、当日配布いたします。

詳細URL <http://www.scj.go.jp/ja/event/pdf2/273-s-3-4.pdf>

問い合わせ先

（一社）資源・素材学会 事務局
〒107-0015 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル5F
Tel：03-3402-0541 Fax：03-3403-1776
E-mail：info@mmij.or.jp

第28回市民セミナー

「災害・防災の視点。」

水環境分野から見えること、できること。」

近年、ゲリラ豪雨や地震などの自然災害が頻発し、市民生活にも甚大な被害を与えています。災害は予測が困難であり、一度生じると長期間にわたり広範囲に影響を及ぼすため、日ごろの対策はもちろんのこと、発生後の

適切な対応が求められます。そのためには、起こりうる災害の特徴やそれによる影響についての具体的な内容を熟知した上で、備えることが必要になります。今回は水害に関連する災害や防災について、水環境分野の視点から考察し、今後必要となる対策について解説します。

本セミナーはテレビ会議システムにより、東京と大阪で同時に開催します。

主 催 日本水環境学会

期 日 2019年8月2日（金）10:50～16:30

場 所 東京会場：地球環境カレッジホール
（いであ（株）内）（東京都世田谷区駒沢）
<http://www.gecollege.or.jp/gec/gec.htm#02>
大阪会場：いであ（株）大阪支社 ホール
（大阪市住之江区南港北）

<http://www.ideacon.jp/company/office/osaka.html>

プログラム

10:20～ 受付
10:50～ 開会挨拶
11:00～ 近年の主な水害と防災・減災対策の取組みについて
国土交通省水管理・国土保全局 河川環境課
河川保全企画室長 笠井雅広（東京会場）
12:00～ 昼休み
13:00～ ゲリラ豪雨の実態とその適応策
防災科学技術研究所水・土砂防災研究部門
横山 仁（東京会場）
14:10～ 減災型治水システムの実現可能性～滋賀県の取り組みから
滋賀県立大学環境科学部 環境政策・計画学科
瀧 健太郎（大阪会場）
15:20～ 災害時の環境衛生を考える～災害文明と災害文化の視点から
名古屋大学 減災連携研究センター
平山修久（大阪会場）

16:20～ 閉会挨拶

※講師の都合等で一部変更となる場合があります。

参加費（税込、資料代含む）

一般3,000円、大学生1,000円、高校生以下無料

定 員 250名（東京会場150名、大阪会場100名）

申込方法 FAX、E-mailまたはハガキに①参加者氏名（フリガナ）②会員・非会員の別③会員の場合は会員番号④希望受講会場⑤連絡先（所属団体名、住所、電話・FAX番号およびE-mail）をご記入の上、下記宛お申し込みください。なお、定員に達した場合は受付を終了させていただきます。また、参加費を7月28日までにお振り込みください。入金を確認後、参加証をお送りいたします。

参加費振込先 三菱東京UFJ銀行 市ヶ谷支店

(普通) 1016020

(株) 日本水道新聞社

カブ) ニホンスイドウシンブンシャ

申し込み・問い合わせ先 (セミナー運営業務受託者)
(株) 日本水道新聞社 出版企画事業部 名取, 村仲
〒102-0074 東京都千代田区九段南 4 丁目 8 番 9 号
TEL: 03-3264-6724 FAX: 03-3264-6725
E-mail: sympo@suido-gesuido.co.jp

2019 年度日本水環境学会東北支部 総会・講演会

主 催 日本水環境学会東北支部
期 日 2019 年 5 月 18 日 (土)
場 所 東北工業大学一番町ロビー 2F ホール
(宮城県仙台市青葉区一番町 1-3-1 TM ビル)

プログラム

13:00~14:00 東北支部総会
14:20~17:00 講演会
14:20~14:35 東北支部 平成 30 年度東北水環境保全
賞受賞記念講演
14:40~15:35 講演 1「環境 DNA 技術の現在と展望:
高度生態情報社会の実現に向けて」
東北大学大学院生命科学研究科
教授 近藤 倫生 氏

～ 休憩 ～

15:35~16:30 講演 2「環境 DNA 調査によって秋田
県雄物川本流でゼニタナゴの再発見と
繁殖場所を確定」
秋田県立大学生物資源科学部
客員教授 杉山 秀樹 氏
パシフィックコンサルタンツ
真木 伸隆 氏

参加対象

- ・総会: 水環境学会会員に限ります。
- ・講演: 水環境学会員以外の方の参加も自由です。

参加申込 問合せは下記まで

参加費 情報交換会 17:45~19:45
(会場は当日案内, 予算は 4 千円程度)

詳細 URL

詳細は日本水環境学会東北支部 HP をご覧ください。
(<http://jswetohoku.web.fc2.com/>)

問い合わせ先

(公社) 日本水環境学会東北支部 山田一裕
〒982-8577 仙台市太白区八木山香澄町 35-1
東北工業大学工学部山田一裕研究室気付
Tel: 022-305-3933 Fax: 022-305-3901
E-mail: yamakazu@tohtech.ac.jp

平成 31 年度日本水環境学会中部支部総会 および見学会

主 催 日本水環境学会中部支部
期 日 2019 年 6 月 1 日 (土) 11:30~17:00 (予定)
場 所
総会 静岡商工会議所 静岡事務所会館 403 会議
見学会①静岡県水産技術研究所富士養鱒場
(富士宮市)
②静岡県富士山世界遺産センター (富士宮市)

プログラム

11:30~ 総会
12:00~ 見学会 (商工会議所発, 静岡駅解散)

申し込み方法 申込書等はメールで以下へご請求ください。

参加申込期間 4 月 1 日 (月) ~ 5 月 21 日 (火) メ切

参加費 無料 (定員 40 名 (先着順))

問い合わせ先 静岡県環境衛生科学研究所大気水質部
Tel: 054-245-2130 E-mail: kantai@pref.shizuoka.lg.jp

2019 年度日本水環境学会関東支部 総会・特別講演会

主 催 日本水環境学会関東支部
期 日 2019 年 6 月 15 日 (土)
場 所 日本大学理工学部駿河台校舎

プログラム (予定)

13:30~ 総会
14:00~ 2019 年度『水環境研究奨励賞』表彰
および受賞者講演 (予定)
14:40~ 休憩
15:00~ 特別講演会

『マイクロプラスチック研究の最前線』

講師: 二瓶泰雄氏 (東京理科大学・教授)
三島聡子氏

(神奈川県環境科学センター・主任研究員)

※詳細は決定次第, 関東支部 HP でお知らせいたします。

17:30~ 懇親会

※皆様のご参加をお待ちしています。総会は本会会員
のみのご参加となりますが, それ以降は会員でない
方もご参加いただけます。

参加費 無料

懇親会 要申込 (御茶ノ水周辺, 会費制 4~5 千円)

※会場予約の都合上, 懇親会参加ご希望の方は (info@
jswe-kanto.com) に申し込みをお願いいたします。

詳細 URL 関東支部 HP (<http://www.jswe-kanto.com/>)

問い合わせ先

(公社) 日本水環境学会関東支部 支部長
東洋大学 大塚 佳臣
〒350-8585 埼玉県川越市鯨井 2100
Tel/Fax: 049-239-1417 E-mail: y_otsuka@toyo.jp

第25回 地下水・土壌汚染と その防止対策に関する研究集会

本研究集会は地下水・土壌汚染の実態・原因・経路の調査から、汚染物質の移動機構の解明、汚染による影響やリスクの評価、汚染の防止対策・修復技術・修復評価、地質等に起因する自然由来の汚染や放射性物質による汚染に関する国内最大規模の研究発表会として、地下水・土壌汚染問題の様々な課題について研究成果や事例発表、意見交換、技術交流、情報収集、人材育成や学習の場としての機能を果たして参りました。毎年、150件を超える研究発表等や特別講演、企業展示などが行われ、大勢の方々のご参加をいただいております。

このたび第25回の研究集会を下記のとおり開催することとなりました多くの皆様に、ご発表やご参加をいただきますようご案内申し上げます。

主 催 廃棄物資源循環学会、地盤工学会、日本地下水学会、日本水環境学会、土壌環境センター

期 日 2019年10月8日(火)～10月9日(水)

場 所 大阪市中央公会堂
(〒530-0005 大阪市北区中之島1-1-27)

内 容(予定)

10月8日(火)、10月9日(水)

口頭発表とポスター発表とを組み合わせた研究発表、特別講演、企業展示

10月8日(火) 懇親会

発表／参加申し込み方法

土壌環境センターのホームページ上で必要事項を入力してお申し込みください。(http://www.gepc.or.jp/)

発表申込締切 2019年6月13日(木)

事前参加申込締切 2019年8月30日(金)

参加費 一般：10,000円(12,000円)、

学生：3,000円(4,000円)

懇親会会費：6,000円(7,000円)(予定)

※括弧内は当日受付の場合

詳細 URL http://gepc.or.jp/kenkyu/25th/

問い合わせ先

第25回 地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会事務局 担当：木下(kinoshita@gepc.or.jp)
〒102-0083 東京都千代田区麹町4-5 KSビル3階
(一社)土壌環境センター内
Tel：03-5215-5955 Fax：03-5215-5954

IWA 関連行事

The 8th IWA –ASPIRE Conference & Exhibition 2019

主 催 IWA Regional Committee of Hong Kong, China (IWAHK), ASPIRE, IWA

期 日 2019年10月31日(木)～11月2日(土)

場 所 Hong Kong Convention and Exhibition Centre
詳細 URL http://www.iwaaspire2019.org/

10th IWA International Symposium on Waste Management Problems in Agro-Industries (AGRO' 2019)

主 催 The International Water Association

期 日 2019年6月19日(水)～21日(金)

場 所 Rhodos Palace Hotel, Rhodes Island, Greece

主要テーマ

①廃水・廃棄物の生物学的／化学的処理、②栄養塩除去および回収、③資源回収および再利用、④高度処理プロセスおよび革新的技術の適用、⑤モデリングと設計の協働、⑥汚泥安定化・利用・処分、⑦畜産廃棄物の処理と利用、⑧農地からの汚濁流出とその制御、⑨農業地域の水・廃棄物の革新的管理システム、⑩農業関連産業における気候変動の緩和・適応策、⑪土壌浄化・管理

詳細 URL http://agro2019.itu.edu.tr/

問い合わせ先 E-mail：agro2019@itu.edu.tr

7th IWA Specialist Conference on Natural Organic Matter IWA 水中の天然有機物に関する専門家会議(NOM7)

主 催 NOM7 実行委員会

後 援 日本水環境学会

開催日 2019年10月7日(月)～10日(木)

場 所 一橋講堂(東京都千代田区一ツ橋2-1-2)

会議の趣旨

IWA 水中の天然有機物に関する専門家会議は、過去6回、スウェーデン、オーストラリア、アメリカなどで開催され、各回200名以上の専門家が参加してきました。水中の有機物は森林植生、湖沼の藻類、下水処理水など様々な起源があり、その形態も多様です。さらに、二酸化炭素濃度の増加による温暖化は、森林植生を変化させ有機物の生産量が増加することが予測されています。

第7回会議(NOM7)では、国内外の専門家5名を基調講演者として、水中の有機物の起源、形態、挙動、分析法や、浄水処理に及ぼす影響、消毒副生成物の生成など、多様なテーマについての発表があります。

参加申し込み http://iwa-nom7.org/ から申し込み

問い合わせ先

NOM7 実行委員会 東京大学大学院 滝沢智

Tel：03-5841-6241 Fax：03-5841-8532

E-mail：nom7-sec@env.t.u-tokyo.ac.jp

19th IWA International Conference on Diffuse Pollution and Eutrophication (DIPCON 2019)

主 催 IWA Diffuse Pollution and Eutrophication Specialist Group

期 日 2019 年 10 月 27 日（日）～31 日（木）
場 所 Ara Conventional Hall, Jeju National University
(Ara Campus), Jeju, Korea

問い合わせ先

E-mail : iwadipcon2019@gmail.com
詳細 URL : <http://www.iwadipcon2019.org/>
※最新情報は詳細 URL よりご確認ください。

The 8th IWA Microbial Ecology and Water Engineering Specialist Conference (MEWE2019)

主 催 MEWE2019 実行委員会
期 日 2019 年 11 月 17 日（日）～20 日（水）
場 所 ANA クラウンプラザホテル広島
(広島市中区中町 7-20)

主要テーマ・会議趣旨

排水処理の微生物学, 水道水の微生物学, 環境工学上重要な新規微生物反応, 環境バイオテクノロジー, 抗生物質耐性微生物, 水処理におけるウイルスの挙動, オミクス技術, システムバイオロジーなど。生物学的水処理における微生物の解析や, 水環境管理の面から注目すべき微生物のモニタリング, さらに環境微生物の解析手法など, 水処理工学, 水環境工学と微生物生態学の両方の視点から議論を進める会議です。今回初のアジア開催となります。

早期割引参加登録期限 2019 年 7 月 15 日（月）

詳細 URL <http://mewe2019.org/>

問い合わせ先 MEWE2019 実行委員会

(日本水環境学会微生物生態と水環境工学研究委員会)
栗栖 太 E-mail : contact@mewe2019.org

他学会関連行事

海水資源・環境シンポジウム 2019

主 催 日本海水学会 海水資源・環境研究会
協 賛 日本水環境学会 ほか
期 日 2019 年 5 月 17 日（金）
場 所 千葉工業大学津田沼キャンパス 7 号館 4 階教室
プログラム 1. 製塩施設と生物の相互関係－膜と配管の生物汚損と製塩施設周辺の生物環境－（仮題）2. 海洋鉍資源の採鉍・揚鉍システム（仮題）3. リチウム資源回収プラント実用化への展望－イオン伝導体リチウム分離法による新資源循環サイクル－ 4. 海洋の極限環境微生物の酵素利用を目指して それ以外は以下詳細 URL をご参照ください。
申し込み方法 E-mail または電話にて
参加申込締切 2019 年 5 月 13 日（月）
参加費 一般：4,000 円, 学生：2,000 円
詳細 URL <http://www.swsj.org/research/research-06.html>

問い合わせ先

(公財) 塩事業センター海水総合研究所 加留部
〒256-0816 神奈川県小田原市酒匂 4-13-20
Tel : 0465-47-3161 E-mail : shigen@swsj.org

第 43 回基礎化学工学演習講座

主 催 化学工学会東海支部
協 賛 日本水環境学会ほか
期 日 第 1 クール 2019 年 5 月 22～24 日, 第 2 クール 5 月 29～31 日, 第 3 クール 6 月 19～21 日, 第 4 クール 7 月 3～5 日, 第 5 クール 7 月 17～19 日 全日（水～金）
場 所 名古屋市工業研究所
プログラム

第 1 クール 化学工学の入門（初歩）, 第 2 クール 化学工学基礎・拡散, 流動, 伝熱, 第 3 クール 蒸留, ガス吸収, 抽出・吸着, 第 4 クール 調湿・乾燥, 固液分離, 粉粒体操作, 第 5 クール 攪拌・混合, 反応工学, プロセス制御を各開催。化学工学の知識を豊富な実例に基づく演習を通じて修得する講座。詳細は, ホームページをご覧ください。

申し込み方法

化学工学会東海支部ホームページ (<http://scej-tokai.org/>) からお申込みください。

参加申込締切 各クールとも定員になり次第

参加費 詳細はホームページをご覧ください。

※協賛団体会員も本会会員価格に準じます。

問い合わせ先 (公社) 化学工学会東海支部

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町
名古屋工業大学生命・応用化学科化学工学研究室内
Tel : 080-4525-3070 URL : <http://scej-tokai.org/>

**グリーンサイエンス 21
第 13 回セミナー「みんなの水道」**

主 催 グリーンサイエンス 21
協 賛 日本水道協会, 全水道会館水情報センター, 日本水道工業団体連合会
期 日 2019 年 6 月 11 日（火）13:30～17:00
(13:00 受付開始)
場 所 全水道会館 (JR 水道橋駅徒歩 5 分)
プログラム
開会の挨拶 元千葉県水道局北総浄水場長
元千葉大学非常勤講師 吉田 政高 氏
講演 1 「改正水道法が成立, どうなる日本の水道は」
元厚生省水道環境部長
前日本水道工業団体連合会 専務理事
工学博士 坂本 弘道 氏
講演 2 「働くものの立場から考える, 命の水が守れるのか」

全日本水道労働組合

書記次長 辻谷 貴文 氏

申し込み方法 詳細 URL をご参照ください。

締め切り 定員 100 名になり次第、締め切ります。

参加費 一般 3,000 円, (GS21 会員) 1,000 円

詳細 URL <http://www.npo-gs21.org/>

問い合わせ先 NPO 法人グリーンサイエンス 21

留守電 & Fax : 03-3952-1121

おしらせ

年会優秀発表賞受賞者国際会議発表助成 (クリタ賞国際会議発表助成) 2019 年度候補者の募集

過去の年会優秀発表賞(クリタ賞)受賞者が研究者・技術者として一層の飛躍をするために、本学会または International Water Association が主催または共催する国際会議(日本国内での開催会議も含む)への参加・発表を助成します。

応募資格 本会個人正会員または学生会員(2019 年度)で以下の条件を満たす者

- 1) 大学院修士課程または博士前期課程を修了した過去のクリタ賞受賞者
 - 2) 年齢が 40 歳未満(2019 年 4 月 1 日時点)
 - 3) 大学院、教育研究機関、公的機関で実施した研究成果を研究実施機関の在籍者の立場で論文発表を行うこと
- 助成内容** 会議での参加・発表にともなう費用の一部の支援

対象となる国際会議の期間

2019 年 7 月 1 日から 2020 年 9 月 30 日

応募方法 助成を希望する本人が、次項の書類を提出すること

提出書類(書式は自由)

- ・応募者の氏名、所属、住所、Tel., Fax., E-mail
- ・大学卒業後の研究・業務略歴
- ・国際会議論文募集の内容が判る資料
- ・国際会議発表の申込書(申し込み時点の口頭、ポスター等など発表形式が記されていること、(案)でも可)
- ・発表予定の研究内容を記した書類(日本語でも可、発表申込時に提出する Extended abstract など)
- ・発表採択通知(任意)
- ・クリタ賞受賞の研究発表との関連、参加を希望する国際会議における抱負、会議参加の必要性、会議参加で得られる情報や経験を今後の業務にどのように活用する計画であるのかを説明する文章(400 字、A4 一枚程度)
- ・過去 3 年の研究等の業績(下記項目に分類して)
 - ① IWA 関連雑誌論文
 - ② JSWE 雑誌論文
 - ③ それ以外の雑誌論文

④ IWA の関連国際会議論文

⑤ それ以外の国際会議論文

⑥ 日本水環境学会年会およびシンポジウム発表

⑦ それ以外の発表

応募期日 2019 年 5 月 31 日(金)

結果通知等 E-mail により 6 月下旬までに通知予定です。授与式などはありません。ただし、発表申請が審査の結果受理されなかった場合には、助成の資格を失います。

問い合わせ・書類提出先

(公社) 日本水環境学会

クリタ賞国際会議発表助成 係

Tel : 03-3632-5351, E-mail : kubota@jswe.or.jp

(公財) 鉄鋼環境基金第 40 回環境助成研究募集

募集期間 2019 年 4 月 1 日(月)～5 月 27 日(月)

応募資格 一般研究助成：日本国内にある組織に属する研究者。若手研究助成：本年 4 月 1 日現在満年齢 39 歳

助成件数 50～60 件程度

助成金額 一般 150 万円以下。若手 100 万円以下。

応募方法 当財団の HP 参照(4 月 1 日掲載)

決定期間 2019 年 10 月下旬頃の理事会で決定。

詳細 URL <http://www.sept.or.jp/>

問い合わせ先 (公財) 鉄鋼環境基金

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10

鉄鋼会館

Tel : 03-5652-5144 Fax : 03-5641-2444

E-mail : sept.soumu@sept.or.jp

島津科学技術振興財団

2019 年度島津賞候補者の推薦について

募集期間 2019 年 7 月 31 日(水)(消印有効)

応募資格 著しい成果を上げた国内の研究機関に所属する功労者。推薦依頼学会からの推薦が必要。

表彰内容 被表彰者 1 名に賞状、賞牌、副賞 500 万円

応募方法 下記詳細 URL より申請書をダウンロードし、日本水環境学会より推薦書を送付

決定期間 2019 年 12 月中旬

詳細 URL <https://www.shimadzu.co.jp/SSF>

問い合わせ先

(公財) 島津科学技術振興財団

〒604-8445 京都市中京区西ノ京徳大寺町 1 番地

TEL : 075-823-3240 FAX : 075-823-3241

E-mail : ssf@zaidan.shimadzu.co.jp

島津科学技術振興財団

2019 年度島津奨励賞候補者の推薦について

募集期間 2019 年 7 月 31 日(水)(消印有効)

応募資格 国内の研究機関に所属する 45 歳以下の研究者。推薦依頼学会からの推薦が必要。

表彰内容 被表彰者3名以下、賞状、トロフィー、副賞100万円

応募方法 下記詳細 URL より申請書をダウンロードし、日本水環境学会より推薦書を送付

決定期間 2019年12月中旬

詳細 URL <https://www.shimadzu.co.jp/SSF>

問い合わせ先 同財団2019年度島津賞候補者の推薦と同じ

島津科学技術振興財団 2019年度研究開発助成の募集

募集期間 2019年7月31日（水）（消印有効）

応募資格 国内の研究機関に所属する45歳以下の研究者

助成件数 総数23名以下

助成金額 1件につき100万円。総額2300万円以下

応募方法 下記詳細 URL より申請書をダウンロードし、直接応募（所属長の承認必要）

決定期間 2019年12月中旬

詳細 URL <https://www.shimadzu.co.jp/SSF>

問い合わせ先 同財団2019年度島津賞候補者の推薦と同じ

戦略的創造研究推進事業 （CREST・さきがけ・ACT-X） 2019年度研究提案の募集開始について

このたびJSTは、戦略的創造研究推進事業「CREST」「さきがけ」「ACT-X」において、2019年度の研究提案募集を開始いたしました。ご関心のある多くの方々のご応募をお待ちしております。

応募締切 CREST：2019年6月4日（火）正午 厳守
さきがけ・ACT-X：2019年5月28日（火）正午 厳守

詳細 URL <https://www.jst.go.jp/kisoken/boshuu/teian.html>

2020～2021年開催 藤原セミナー募集

藤原科学財団は、科学技術の振興に寄与することを目的として、2020～2021年の間に「藤原セミナー」の開催を希望する研究者から、下記募集要項に基づいて申請を受け付けます。

対象分野 自然科学の全分野

応募資格 わが国の大学等学術研究機関に所属する常勤の研究者

開催件数 2件以内

開催費用援助額 1件につき12,000千円以内
（総額24,000千円以内）

*セミナーの要件など詳細は下記HPをご参照ください。

申請方法 「藤原セミナー開催申請書」（1通）を、所属組織長を経由して当財団に提出すること。

申請書提出締切 2019年7月31日（水）必着

問い合わせ先 （公財）藤原科学財団

〒104-0061 東京都中央区銀座3-7-12

Tel：03-3561-7736 Fax：03-3561-7860

URL：<http://www.fujizai.or.jp>

本冊子は「特集企画編」です。「原著論文編」は、国立研究開発法人科学技術振興機構「科学技術情報発信・流通システム（J-STAGE）」に掲載しています。<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/jswe/-char/ja/>